

## 【テーマ】 魅力ある大学づくり

### 1. 討議内容

#### (1) 第1ステージ（お互いを知るための自己紹介・グループとしてのテーマ設定）

グループ内で簡単な自己紹介と昨日の講義についての感想を述べた。その後、各大学が抱えている問題点を出し合い、その中からグループとしてのテーマ設定を行った。

#### (2) 第2ステージ（問題の分析と解決に向けてのディスカッション）

第1ステージで設定したメインテーマ「魅力ある大学づくり」について、さらに3つのサブテーマを設け、メンバー間で問題点、課題を抽出して話し合いを行った。

内容は概ね次のとおりである。

##### ① 充実した学生生活

ア. 学生への対応はどこまで  
過剰なサービスはNG

イ. モラル低下

学生への通知方法を検討（E-mail など）

ウ. 学生の多様性

学生同士の交流の場を検討（友達探しページなど）

エ. 成績不良者への対応

不明な内容を再履修するシステムの構築（e-Learning など）

※ただし、出席者減になりかねないので出席した講義のみ視聴出来る様にするなどの対応が必要か？

オ. 学生情報が最新ではない

出席状況や履修状況がリアルタイムに確認出来る個人カルテを作成

##### ② 大学アピール

ア. 学生募集方法

ICT を活用し、各大学の建学の精神に則った募集方法を検討

イ. 少子化

社会人を取り込むなど、これまでの概念にとらわれない方策を検討

ウ. グローバル化

世界に開かれた大学づくりを目指し、留学生の積極的な取り込みを検討

エ. オープンキャンパス

どのような工夫をして人を集めているのか検討。以下は実際に各大学で実施している事例。

- ・ 無料バスにて駅から大学まで送迎
- ・ CM を作成
- ・ 大学専用のマスコットを作成しストラップ等を配付
- ・ ブログの作成
- ・ 食堂を無料開放
- ・ 授業が体験できるようなプログラム作成
- ・ オープンキャンパス用の看板作成
- ・ 学園祭時に実施

### ③ 職員力の向上

#### ア. 事務作業が多い

スタッフ間で情報の共有が重要（引き継ぎ方法の検討、共有ファイルの利用など）

#### イ. 上司が不在

長期出張の際にも電子決裁等を利用することで、事務の滞留を防ぐ

#### ウ. 教員スケジュールが把握されていない

大学への出校状況が確認出来るような工夫をする（電子掲示板など）

#### エ. 他部署との交流が薄い

同一資料の作成を防ぐために、情報台帳の作成や掲示板を活用

## (3) 第3ステージ（発表に向けて内容の絞込みと議論の掘り下げ）

第2ステージで抽出した、問題点や課題について、課題解決に向けての方策を検討した。内容は概ね次のとおりである。

### ① 充実した学生生活

個人ページで匿名の掲示板を作るなど学生の孤独感を防ぎ、交流を深める。また、学生が大学に持っている要望や意見などを伝えられるように匿名で記載できる掲示板を設け、学校側の回答をその掲示板を通して公開し、一方向ではなく両方向からコミュニケーションを図れる環境を創る。

### ② 大学アピール

学生募集方法（PPT）・広報活動も情報活用が必要（PDCA）である。

留学生・聴覚障害の方のために、字幕付きの授業風景のビデオを作成する。

ディスカッションやすぐに業務に活かせる内容の授業を行うなど、プログラムの見直しを行う。また、18:00以降に授業を開始するなど、社会人が科目履修生として授業を履修できる環境を作る。

### ③ 職員の向上

事務作業が多いことで、学生とのコミュニケーションの機会が少なくなる。無駄を減らし業務の効率化を図ることで職員の作業が向上し、学生サービスの質の向上を目指す。ブレインストーミングで班員の個々の大学でどのような事務上の問題があるかを書き出し、実践例や解決策を出し合った。

## 2. 第4ステージ（まとめ、成果発表、アクションプラン）

大学の中心は学生である。前日に受けた講習の「学生なくして大学在らず！」のとおり、学生は、大学にとって大きな可能性を持った資産である。一方、大学を取り巻く環境は様々だが、その中でも教職員・地域社会・入学生・卒業生との繋がりが挙げられる。

学生サービスを向上させるには情報ツールをうまく利用し、学生をサポートしていく。それには教職協働と組織改革が必要であり、我々職員とは新たな価値を作り出す人材であり、職員力を磨くことが常に求められている。情報ツールは、魅力ある大学づくりには欠かせないものである。しかし、情報に振り回されることなく人間力も大切にし、魅力ある大学づくりを推進する必要がある。

このグループ討議が各大学での教育支援体制の見直しや、新たな情報サービスのヒントになれば幸いである。